



「平成26年度 ライフプラン相談業務セミナー」を開催しました!



平成26年9月5日(金)、東京・千代田区平河町のルポール麹町で平成26年度ライフプラン相談業務セミナーを開催しました。

このセミナーは、主に地方公共団体、共済組合等のライフプラン相談業務担当者を対象に、家庭経済設計に関する専門知識や相談業務のなかで必要な各種技法を習得するため、毎年開催しています。今年度のセミナーの概要は以下のとおりで、参加者の方々から業務に役立つセミナーとの感想をいただきました。

各講演の紹介・1

家庭経済設計に関する相談の傾向と実例・トピックス

生活デザイン株式会社 代表取締役社長
1級ファイナンシャルプランニング技能士・CFP
藤川 太氏

藤川先生は、テレビ・新聞・マネー雑誌等に数多く登場されている人気のファイナンシャル・プランナーです。保険を初め、年金、住宅ローン、資産運用など、お金に

関するあらゆる問題について、具体的な事例をあげながらの、分かりやすい説明は好評を博しています。

講演は、最初に現在の経済状況が説明され、次に、ライフプラン相談の中で多い住宅購入、そして、資産運用などが話されました。

1. 東京オリンピックまで好景気は続く?

バブル経済崩壊、リーマンショック、サブプライムショックなど、これまで5年〜7年に一回経済ショックがあったと説明され、景気の好不況は繰り返され、今後もあるのではないかと話されました。

2. サラリーマンは2度破産する!

生涯の経済設計において、教育費、住宅費で支出の多い40歳代、年金生活が開始する60歳代は、単年度収支で赤字が想定される。貯蓄や退職手当でカバーしなければならなくなる可能性が高いと述べられました。

3. 住宅について、購入派と賃貸派

それぞれのメリット、デメリットが話され、どちらにするかは、各自の考え方によるとした上で、現役時代は、持ち家の方がお金が多くかかると話されました。なお、住宅ローンについて、次の注意事項が述べられました。

①子どもがいる家庭は年間返済額は年収の20%以内に抑える。それ以上になると、



生活デザイン株式会社
代表取締役社長
1級ファイナンシャルプランニング
技能士・CFP 藤川 太氏

別に税金・社会保険料が20%かかるため、生活が苦しくなる。

②返済終了日は70歳を超えないように設定する。繰り上げ返済をする際に困難をきたす。

③中古住宅は、割安な物件を見つけるチャンス。ただし、物件に問題があるかを見極めることが必要。売り主の経済的事情がある物件、アウトレットマンションなどは、比較的安全な場合が多い。

④住宅ローン控除の対象条件は、登記簿上の床面積50㎡以上、マンションは原則築後25年以内。ただし、耐震補強工事済又は耐震基準適合証明書取得の物件は築後25年超も可能。

4. あなたは運用について何を期待する？

第0段階…絶対に損をしたくない↓第1段階…インフレヘッジをしたい（物価が上がりればお金の価値が下がるので）↓第2段階…生活に余裕ができるという↓第3段階…お金持ちになりたい、という段階ごとの期待度が大方の考えであると話され、その上で、資産形成の取組について説明がありました。

STEP 1 家計の赤字をなくす

STEP 2 貯蓄できる家計の仕組みを作る

STEP 3 運用の元金1000万円を作る

STEP 4 リスクを取って大きく増やす

（積極運用資金の範囲を考える）

STEP 5 攻めから守りへ重心を移す

運用してどうしたいのかを最初に考えること。運用期間は、教育資金や老後資金などの用意を目標に、必要となる時期までとすることなどが述べられました。

最後に、資金運用とライフプランの関係が話され、現在と将来におけるキャッシュフローを想定し、「守るお金」「増やすお金」「運用できるがリスクを取りたくない資金」に仕分けし、マネープランをつくり、取り組むことが重要と話され終了しました。

各講演の紹介・2

相談業務の基礎知識と技法 相談業務におけるカウンセ リングマインドと聴く方法

Manner-Bo Alliance 株式会社
代表取締役 大竹 奈穂子氏

大竹先生は、自ら立ち上げた会社でカウンセリングや傾聴などの研修企画と運営を行い、また、鎌倉女子大学で秘書学の教鞭をとられ、活躍されています。

プログラムの前半は、相談の対応のあり方と技法についての講義、後半は三人一組



Manner-Bo Alliance (株)
代表取締役 大竹奈穂子氏

による相談技法の実習が行われました。

前半の講義では、1「カウンセリングマインドはなぜ必要か」、2「コンサルテーション（相談）について」、3「信頼関係を構築するための体制づくり」、4「きく」ことの種類、5「聴く」技法、と順に話されました。講義内容は以下のとおりです。

- ・相談者が本音で話すことができるよう、ゆったりとした状況をつくること。
- ・「決断するのは相談者本人である」。相談員の役割は相談の解決に役立つよう努めること。そのために日頃から情報収集が大切。

- ・「きく」とは「聴く」こと、なんとなく「聞く」状態ではなく、相手の言うことをしっかりと理解しようとするのが「聴く」。相手の表情やしぐさや語調など、感性を働かせて「話し手の心情」をつかむこと。
- ・信頼関係を築くためには、「挨拶」「表情」「身だしなみ」「態度」「声と間」「言葉遣い」の6項目が必要。特に「挨拶」では、次の要領で行うことが大切と述べられました。①柔和な表情で②背筋をただし③おじぎをし、一旦止め④そして、元に戻る。

また、「身だしなみ」では、仕事にマッチした清潔感ある身なりで対応することが大切と説明されました。

更に、第一印象が非常に大切であり、相手への判断基準は、最初に会った時の視覚情報が60%にも値すると述べられ、そのこ

◎平成26年度ライフプラン相談業務セミナー日程表
平成26年9月5日（金）

時間	講演内容等
9:30～10:00	受付開始
10:00～10:05	開講挨拶 一般財団法人地域社会ライフプラン協会 理事長 大竹邦実
10:05～10:15	オリエンテーション
10:15～11:45 (1時間30分)	講演 (演題)「家庭経済設計に関する相談の傾向と実例・最新トピックス」 (講師) 藤川 太氏 生活デザイン株式会社 代表取締役社長 1級ファイナンシャルプランニング技能士・CFP
11:45～12:45	昼食・休憩
12:45～14:45 (2時間)	講義と演習 (演題)「相談業務の基礎知識と技法」 (講師) 大竹奈穂子氏 Manner-Bo Alliance株式会社 代表取締役
14:45～15:00	休憩
15:00～16:30 (1時間30分)	講演 (課題)「共済年金に関する相談実例・講義と演習」 (講師) 但馬達郎氏 地方職員共済組合 給付課長兼年金相談室長
16:30～17:00	質疑応答、アンケート記入
17:00	閉会

会場：ホテル ルポール麹町2階 「ルビーの間」

各講演の紹介・3

共済年金に関する
相談実例・講義と演習

地方職員共済組合
給付課長兼年金相談室長
但馬達郎氏

前半は、参加者から出された相談実例に

とからも見出しなみは大切と話されました。
後半は、三人一組による聴き方の実習が行われました。「話しをする人」「聴く人」「オブザーバー（監視）」の役に分かれ、与えられたテーマに沿って行われ、聴き手は、敢えて「アイコンタクトなし」「あいづちなし」「無表情」で対応する条件で進められました。聴き手の態度が、相談業務にとっていかに大切であるかを知ることとなりました。



地方職員共済組合
給付課長兼年金相談室長
但馬達郎氏

ついて意見交換し、その対応を考えると、う流れにより行われました。但馬講師により議事を進行、各実例に対する専門的意見とまとめをしていただきました。後半は、平成27年10月に実施される被用者年金一元化について説明をいただきました。

1. 参加者からの相談実例とその対応

●実例の提出と分類について

参加者が提出した12件の実例を、「退職共済年金の支給について」「在職老齢年金の仕組み」「被用者年金一元化について」の3つに分類し行われました。

●当日の進行とまとめ

難しい実例もありましたが、12件全ての事例に対応方法が打ち出され、年金の仕組みと今後の方向を理解する実践的な講習になりました。

2. 被用者年金一元化について

平成27年10月1日以降、厚生年金保険制度に統一されることに鑑み、「共済年金と厚生年金との比較」「経過措置」「職域年金と年金払い退職給付の差異」「統一後の

厚生年金保険料率」などが、順次説明されました。地方職員共済組合のホームページに、関係する詳しい内容が掲載されているので、一度アクセスしてほしいとのことでした。

なお、当日の参考資料として、地方職員共済組合からいただいた関係資料と、当協会発行の「くらしを豊かにするハンドブック」わかりやすい年金・平成26年度版」を活用し、該当箇所を読み合わせしながら行うことで、より一層理解を深める講演となりました。



アンケート結果

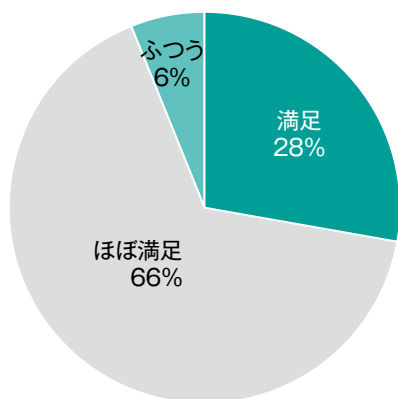
アンケートの結果では、「満足」28・6%、「ほぼ満足」65・7%と、合わせて94・3%の参加者の方々から参考になったとの評価をいただきました。

また、様々な団体、様々な年代からの参加があり、広く関心のあるセミナーであることを感じました。

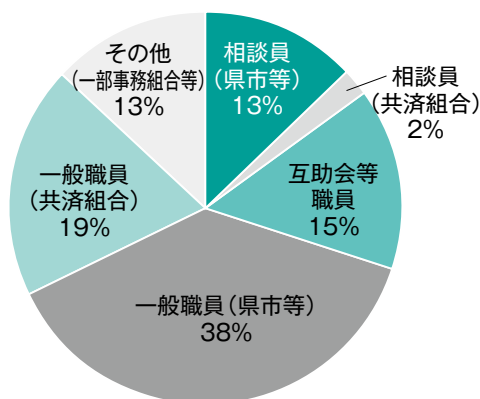
次ページに関係する統計グラフを掲載しましたのでご参照ください。

平成26年度「ライフプラン相談業務セミナー」参加者に関するアンケート結果

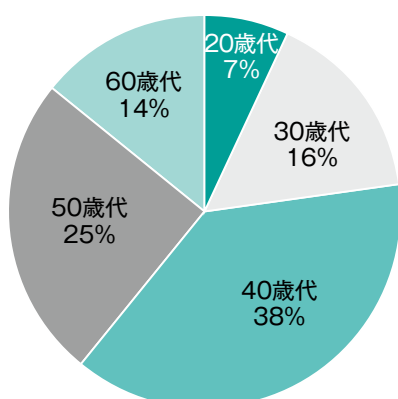
セミナーの感想



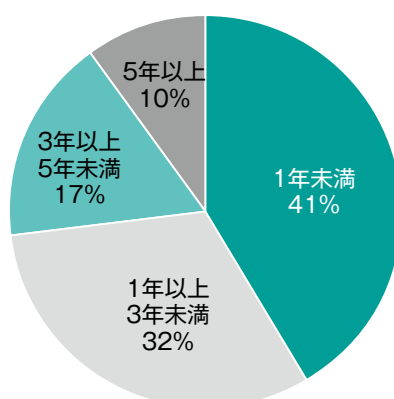
勤務先所属



年齢別



経験年数



セミナーを終えて

今回のセミナー参加者は44名で、昨年同様多くの方々に参加いただきました。

平成27年10月1日に実施される共済年金の厚生年金保険制度への統一などを初めとする知識の修得、相談技法の収受など、日頃の業務に役立つ内容だったと思います。参加者から、これからも同セミナーを継続してほしいとのご意見が多数寄せられました。今後とも、相談業務に役立つ内容になるよう企画し、実施していく所存です。

参加者の方々から、様々なご意見をいただきました。主なものは次のとおりです。

- ・「どの講演も分かりやすく、ニーズに応えるものだったので、大変勉強になった。特に家庭経済設計は、自主研鑽では分かりにくい資産運用や住宅関係について理解することができた」
- ・「初めての受講、もっと早くに参加すれば良かった」
- ・「プログラムのバランスが良い。セミナー実施の参考になった」
- ・「相談業務の具体的技法が分かりやすく、ためになった」